

## コイヘルペスウイルス病の検査を実施

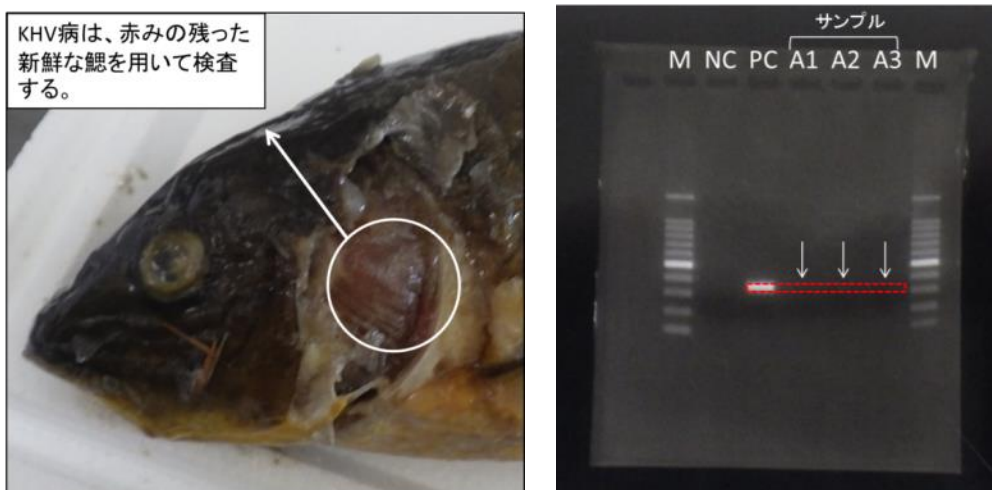
コイヘルペスウイルス病（KHV病）は、河川や池等でコイの大量死を引き起こすことから、国の特定疾病に指定されている病気です。

被害の拡大を防止するためには、迅速かつ正確に検査を行い、陽性の場合には早急に対応策を講じる<sup>※1</sup>ことが不可欠です。

当センターでは、8月初旬に府内の池でコイの斃死が報告されたことを受け、PCR法<sup>※2</sup>による検査を行いました。診断の結果、KHV病は陰性であることがわかりました。

このように、コイ斃死の報告を受けて素早く検査を行い、関係者と情報を共有しながら対策を講じることで、府内の防疫体制強化に努めていきます。

- ※1 陽性が確認された場合、対応策（殺処分や移動制限措置）を講じる必要がある。
- ※2 コイの体内におけるウイルス DNA の有無を調べることができる検査法。ウイルス DNA が検出された場合、本病陽性対象（写真右、PC）と同位置（図の矢印部分）にバンドが現れる。サンプル（A1～A3）ではバンドが出現しなかったため、KHV 病陰性と診断。



写真：検査に用いたコイ（左）と、PCR法<sup>※2</sup>による検査の結果（右）